



伝統の漁を体験 宮地浦湾仕切網漁体験を開催



新和まちづくり協議会だより

フバコ

No. 70

令和元年7月1日発行

主な内容

- ・新和まちづくり協議会開催 ……2p
- ・まちの話題 ……3p
- ・振興会だより ……4～5p
- ・お知らせ ……6～8p

編集発行：新和まちづくり協議会事務局

好天に恵まれた5月5日、宮地浦湾において伝統の漁体験が盛大に開催されました。これは昭和30年頃まで、行われていた漁法の一つで、満潮時に約400mの網で湾を仕切り、干潮時に湾内に残った魚を捕まえる漁法です。平成19年度に宮地浦地区住民を中心に復活され、今年で13回目を迎えることとなりました。この日は県内外から136人が参加。午後2時から干潮を迎えた湾内の浅瀬に一斉に入り、網を片手に泥まみれになりながら魚を追いかけていました。また、6月4日には、新和小学校と有明小学校4年生の漁体験も開催されました。

『はまぼう』を見に行こう！ ～はまぼう観察週間～

新和まちづくり協議会では、市の花『はまぼう』の開花を迎える期間を「はまぼう観察週間」として、来場者におもてなしを行います。可憐に咲き誇る夏の花『はまぼう』の観賞にご家族でお越しください。

■観察週間：令和元年7月13日(土)～20日(土)

■会 場：はまぼう群生地(新和町大宮地バス停付近)

■内 容

●来場者へのおもてなし

7月13日(土)～15日(月・祝)及び20日(土) 9:00～12:00

・来場者には、冷たいお茶をサービスします。

・パークボランティアによる群生地の案内や群生地に生息する動植物についてのガイドを行います。
(期間中の土日祝日以外は要予約)

●ドローン空撮体験

7月14日(日) 10:00～12:00

(ドローンを操作して、はまぼう群生地を上空から撮影します。)

対象者は小学5年生から18歳まで 事前申し込み 先着20名(雨天等の場合は15日に順延。両日ともに飛行できない場合は中止となります。)

◇お申し込み・お問い合わせ

はまぼう推進班事務局(天草市新和支所内)

☎46-2111

虫追い祭りを開催

4月21日に各地区で虫追い祭りが開催され、五穀豊穡を祈り鐘・笛・太鼓を打ち鳴らしながら練り歩きました。



小宮地



下多尾



大多尾中央

祝インターハイ出場 田中泰世選手

インターハイ南九州地区予選会で田中泰世選手(新和中学出身・出水中央高校)が陸上3000m障害で3位に入り、インターハイ出場を決めました。8月沖縄県で開催される本大会に臨みます。



力走する田中選手(右)

Tbatter

つばさのつばき

小さな頃に憧れたクワガタを卵から育てています。そろそろ土の中からモゾモゾと這い出して来ないかと、朝から虫カゴを覗いています。今日も出てこないかと思っていると、5歳の娘の声が聞こえました。「鼻の中にセミがいる！」何かと思っ

この記事が読まれている頃は、梅雨の真只中でしょう。梅雨といえば、紫陽花やかたつむりなどを連想しますが、個人的には食中毒やジメした不快感、大雨や土砂災害など、あまり良い印象がありません。

このぐらいの季節になると、小さい頃は夏休みが待ち遠しく、虫捕り・花火・海水浴と楽しみを挙げればきりがありません。宿題は後回しで、海に山に朝から晩まで毎日遊びました。もちろん最後は、泣きながら宿題に励んだ一瞬優しい記憶を思い出します。

近年、全国各地で予想を超える災害が発生しています。ここ天草でもそういった災害が起こるかもしれません。もしもの時、を考えて行動していただければと思います。



【金】



【浦】